

# あいさつ

福島県スキー連盟 会長 阿部 和博

会員の皆様には、本県スキー連盟への御理解と御協力を賜りまして誠にありがとうございます。

このたび、8月の評議員会において、令和7年度より新たに福島県スキー連盟会長に選任されました。微力ではありますが、歴代会長はじめ役員の皆様が築き上げました実績を基に、本連盟のさらなる発展のため、新役員とともに精一杯努力して参る所存です。

さて、令和6年度の本連盟の事業運営につきましては、まれにみる暖冬、少雪の影響から、大会会場の変更、中止など困難を伴いましたが、皆様の御協力を得ておおむね無事終了することができましたこと深く感謝申し上げます。

各部の事業実績を顧みますと、総務本部は、「Zoom会議」を中心とした企画提案、ホームページやメール等を活用した情報発信、各部の連携による情報共有を積極的に進めてまいりました。また、競技本部では、福島県総合スポーツ大会はじめ各種競技会において、雪不足の影響から競技会場の変更や中止を余儀なくされました。国民スポーツ大会「やまがた雪未来冬季大会」では、アルペン成年女子2部で網代慈子選手が第7位入賞と健闘しました。また、西沢岳人選手が全日本選手権デュアルモーグルにて優勝、同モーグルでも準優勝されたことは特筆に値します。御指導に当たられました監督・コーチの皆様御尽力に感謝申し上げます。教育本部では、スキー準指導員検定会等を予めから切望されていた喜多方市三ノ倉スキー場で開催しました。また、スノーボード準指導員検定会、SAJスキー大学（第3会場）はあだたら高原スキー場で開催されました。各事業開催にあたり、スキー場関係者の皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

令和7年度の各種事業に対しましても、会員の皆様はじめ、(公財)福島県スポーツ協会、各市町村、東北索道協会福島地区部会、各スキー場はじめ関係機関の皆様には、引き続き本県スノースポーツ発展のため御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。